

# ぶぶが 議会だより

2015 1.19 第90号



## 快挙、小値賀町議会が受賞

小値賀町議会の総合計画などの取り組みが評価

## 多額の不納欠損額に質疑集中

平成25年度決算認定について特別委員会で審議

## 一般質問

## 肩ひじ張らずに意見交換

議会と語ろう会を実施

## 議員定数を削減し8人に

次の地方統一選挙から施行

成人式にて

編集 小値賀町議会 広報常任委員会  
発行責任者 小値賀町議会議長  
電話 0959-56-3111



マニフェスト大賞成果賞部門



# 小値賀町議会が受賞しました

町民と共に議会版総合計画を策定したことをメインに

議会改革に取り組む本町議会の姿勢を評価



審査委員会特別賞の受賞

今回の受賞は、小値賀町議会が現在、取り組んでいる多方面にわたる議会改革の活動が評価されたものですが、特に、議会が総合計画を町民と共に策定したことが注目されました。

町民と議会がなれない会議を進め、それを計画書に落とし込む作業は、骨の折れることでしたが、従来の行政のための計画という側面から町民が主体となつてつくり実行していく公共計画づくりへと移行する必要を示すことができました。



審査委員会特別賞受賞スピーチ

等な立場から互いに切磋琢磨し、二元代表制が良好に機能するとともに、町民も様々な形で自治に参画していくことが地方分権時代には必要です。」と述べられ、小値賀町議会の取り組みは注目しているとのありがたい言葉をいただきました。

これもひとえに8か月の長きにわたり議会版総合計画策定に参加していただいた町民有志の方々のおかげです。この場を借りて感謝申し上げます。



前日に行われたプレゼンテーション



プレゼンに対する特別賞の受賞



北川先生を囲んでの受賞記念の一枚



マニフェスト大賞優秀成果賞及び審査委員会特別賞を議会を代表して受ける立石議長

## 優秀成果賞と審査委員会特別賞を受賞

この度、小値賀町議会は、マニフェスト大賞実行委員会主催、早稲田大学マニフェスト研究所及び毎日新聞社共催のマニフェスト大賞成果賞部門の優秀賞と審査委員会特別賞をいただきました。

東京の六本木ヒルズの森ビル49階のホールにて授賞式が厳粛かつ盛大に

「優秀成果賞、小値賀町議会」と大きな会場に司会の声が響きました。優秀賞は8つの議会が受賞です。その中から最優秀賞が決まるのです。「第9回マニフェスト大賞最優秀成果賞は、北海道芽室町議会」との声が響き渡りました。芽室町議会は、我々が議会改革の参考になっている議会のひとつです。当然のことでしょう。しかしそのあと、なんと「審査委員会特別賞は、小値賀町議会」とのアナウンスが流れたのです。並みいる議会改革に取り組む先進議会を差し置いて、優秀賞でも恐れ多

いのですが、それが審査委員会特別賞です。ビックリしました。おこがましいことですが、本町議会にとつて快挙です。授賞式は、11月14日、東京六本木ヒルズ森ビル49階の大ホールで行われました。今回の応募総数は、2223件、1459団体で、過去最高の数だということです。早稲田大学の北川先生を始め、地方自治の専門の先生など名だたる方々の出席の下、このような評価をいただいたことに感謝申し上げます。今後の更なる精進を誓った次第です。

# 平成25年度一般会計及び特別会計の決算を認定

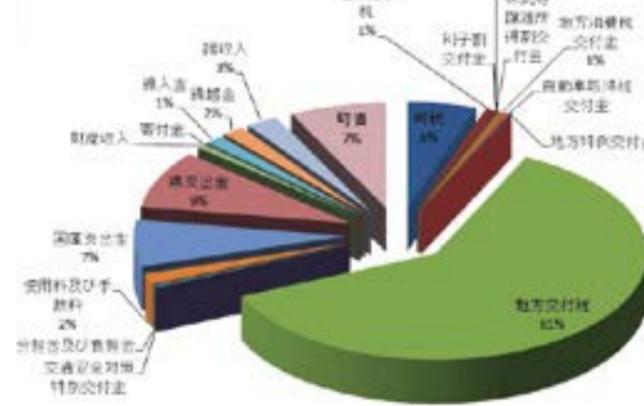
歳入合計は28億4794万7738円 歳出合計は27億8823万5837円

12月会議開催 小値賀小学校6年生全員が議会を傍聴

## 多額の不納欠損額に質疑が集中

12月5日から11日まで12月会議が開催されました。一般質問には4人の議員が登壇しました。(9頁13頁) 小値賀小学校6年生23名が一般質問を傍聴しましたが、本年2月には「子ども議会」を予定していますのでご期待ください。(9頁) 従来決算認定は9月に行われていましたが、諸事情により12月会議にて平成25年度の決算について審査することになりました。決算特別委員会では、合計282万2804円の不納欠損額についての質問が集中。不納欠損に至った経緯及び今後の滞納整理の進め方等に質疑が集中し、債権回収マニュアルの作成や債権管理条例の早期制定が急務だと指摘する意見が多く出されました。その他、報告1件、特別会計補正予算案(7頁)、条例改正案(8頁)、工事請負契約の変更など合わせて議案7件を審議し、いずれも原案可決しました。

一般会計歳入決算グラフ



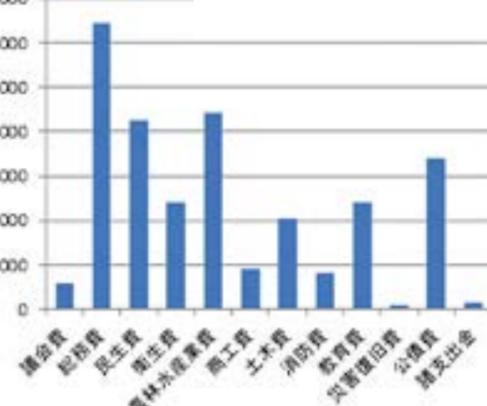
歳入決算額

項目	金額
町税	1億4982万5911円
地方譲与税	2261万1000円
利子割交付金	29万円
配当割交付金	43万7000円
株式等譲渡所得割交付金	60万3000円
地方消費税交付金	2205万8000円
自動車取得税交付金	370万9000円
地方特例交付金	5万7000円
地方交付税	17億4794万円
交通安全対策特別交付金	0円
分担金及び負担金	909万315円
使用料及び手数料	4778万1967円
国庫支出金	2億229万8458円
県支出金	2億5043万4700円
財産収入	1793万1197円
寄附金	236万4200円
繰入金	3959万7454円
繰越金	4872万9279円
諸収入	7136万7257円
町債	2億1082万2000円
歳入合計	28億4794万7738円

## 決算の審議内容

12月8日、9日の両日、決算特別委員会(宮崎良保委員長)において平成25年度一般会計及び特別会計の決算を審議し、11日の本会議で認定いたしました。一般会計の決算内容は上記のグラフと表にまとめております。一般会計では24年度と比べ歳入歳出共に約6億

一般会計歳出決算グラフ



歳出決算額

項目	金額
議会費	5846万1449円
総務費	6億4422万3858円
民生費	4億2623万4523円
衛生費	2億3998万8394円
農林水産業費	4億4088万5347円
商工費	9056万5610円
土木費	2億261万1348円
消防費	8301万4681円
教育費	2億3940万9813円
災害復旧費	835万2036円
公債費	3億4020万6778円
諸支出金	1428万2000円
予備費	0円
歳出合計	27億8823万5837円

歳出決算額(性質別)

項目	金額
義務的経費(39%)	10億8612万円
(内訳) 人件費	5億6127万円
扶助費	1億8464万円
公債費	3億4021万円
投資的経費(8%)	2億2289万円
(内訳) 普通建設事業費	2億1454万円
災害復旧事業費	835万円
その他の経費(53%)	14億7923万円
(内訳) 物件費	4億3396万円
維持補修費	3169万円
補助費	3億114万円
積立金	2億8501万円
投資出資貸付金	3221万円
繰出金	3億9522万円
支出合計	27億8824万円

円(18%)の減額になりました。経常収支比率は前年度の82.6%から77.7%と4.9%減少し、やや硬直した財政から良好な状態に近づきつつあるといえます。

## 「主な質疑」

### ◎歳入

問…町税の滞納状況と今年多額の滞納欠損額が出るに至った経緯は?



答…町税の滞納は28名で44件である。不納欠損に

委員からは、議会及び監督委員からの指摘により、これまでの滞納金について法的に時効が成立しているかどうかを徹底して見直した。これにより、消滅時効の事案が出てきたので、法令に従い今回不納欠損額として計上した。滞納金の徴収については法律に基づき、きちんと滞納処分を行っていくこととしており、今後は回収機構等を利用して、適正・適法な滞納整理を進めていく。

問…今回の不納欠損は、債権管理に問題があった

と考えられる。債権管理と条例や滞納者に対するペナルティを課す条例を制定し、今後の行政としての姿勢を示すべきだ。答…滞納整理のマニュアルづくりや体制づくりを整えているところである。今後必要であれば、条例も考える。しかし、今すぐとは考えていない。

問…今後の滞納整理について、危機感を持って取り組むべきだ。

答…平成26年度から延滞金や督促手数料は取るようになっている。危機感が足りないとの指摘に関し

### ◎歳出

問…成果報告書に高齢者等を狙った悪質なトラブルが増加しているところがあるが、内容は?

答…購入していないのに代金の請求が来たのが3件、注文していないのに品物が送ってきたのが2件、携帯電話での嫌がらせメールが2件の計7件だった。



**\*不納欠損処分とは?**  
滞納金で、徴収ができないと認定された額を処分することです。この度の不納欠損処分は、法的に時効が成立したものを一挙に洗い出したために多額となりました。

種類	25年度末残高	前年度比	
積立金残高	19億6881万629円	2億4706万円	増
内 財政調整基金	1億8685万8502円	26万円	増
内 減債基金	3億2010万1109円	4036万円	増
内 その他	14億6185万1018円	2億643万円	増
定額運用基金	2億2298万6475円	20万円	増
特別会計基金	1億3391万920円	2135万円	減
合計	23億2570万8024円	2億2591万円	増

種類	25年度末残高	前年度比	
地方債残高	50億5925万円	2億2514万円	減
債務負担行為	5643万円	3308万円	減
合計	51億1568万円	2億5822万円	減

# 平成25年度特別会計決算と審議内容

今回、滞納金の徹底した整理を行ったことで、特別会計にも一部に不納欠損額が生じています。法的に時効が成立したものを洗い出した結果ですが、これまで滞納金の整理に関して行政としての甘さがあったことを指摘し、今後の姿勢と対応策について早急に方針を示すよう決算特別委員会で求めました。

## 国民健康保険事業特別会計

項目	金額	前年度比
歳入総額	4億8668万3507円	672万497円減
歳出総額	4億7572万4336円	106万2117円増
単年度収支	778万2614円の赤字	
不納欠損額	176万2974円	
繰入金	3848万2304円	

問 国民健康保険税で不納欠損額が176万2974円と多額になっているが、なぜか。

答 滞納者の中には亡くなっていたり、住所が不明などで徴収不能なケースがありながら債権だけが残っていたものがあつた。また、分納などの徴収事案の中に時効中断といえないものもあつたので、今回すべての債権を細かく再吟味し、時効（5年間）が成立している債権を洗い出した。これらを合わせて今回不納欠損することにしたため。（税金など公法上の債権は時効が来ると即、消滅することになる。）

## 国民健康保険診療所特別会計

項目	金額	前年度比
歳入総額	4億2169万6561円	1970万4205円減
歳出総額	4億15万3020円	1506万58円減
単年度収支	464万4147円の赤字	
繰入金	6445万2000円	

問 24年度と比べて入院患者数と外来患者数は減っているのに、診療報酬が上がっている理由は？

答 入院では重篤な患者が増えたため1つの理由である。また、外来では、24年度にヘリカルCTを導入したことに伴い利用が増えたことが2つ目の理由であると考えている。

## 簡易水道事業特別会計

項目	金額	前年度比
歳入総額	8760万9240円	113万5682円減
歳出総額	8346万9714円	251万8358円減
単年度収支	138万2676円の黒字	
繰入金	2993万8000円	

問 収入未済額が減少しているのは？

答 平成24年度から分納誓約書を徹底し、納付してもらった。職員の緊張感の中で実績が上がっている。

## 下水道事業特別会計

項目	金額	前年度比
歳入総額	1億7270万5532円	962万476円減
歳出総額	1億6961万7370円	948万846円減
単年度収支	13万9630円の赤字	
不納欠損額	4010円	
繰入金	1億4298万円	

## 後期高齢者医療事業特別会計

項目	金額	前年度比
歳入総額	4254万9371円	123万3001円減
歳出総額	4247万2953円	107万2198円減
単年度収支	16万803円の赤字	
繰入金	2047万8000円	

## 介護保険事業特別会計

項目	金額	前年度比
歳入総額	4億1212万5092円	2242万6240円増
歳出総額	3億9572万2127円	2100万430円増
単年度収支	142万5810円の黒字	
不納欠損額	67万2920円	
繰入金	5926万7000円	

## 渡船事業特別会計

項目	金額	前年度比
歳入総額	5531万6313円	443万7142円減
歳出総額	5329万5222円	336万7410円減
単年度収支	106万9732円の赤字	
繰入金	1428万2000円	



決算特別委員会

## 債権管理条例案が

### 議員から提出され可決

12月25日の本会議にて、債権管理条例案が伊藤議員より提出され、議会はこれを全会一致で可決しました。

この条例は、滞納金問題に端を発し、滞納処分などの滞納整理に関する法に基づく執行部の姿勢に甘さがあったことなどが滞納問題特別委員会から指摘されていたことに基づくものです。

議会では9月会議で不納欠損額が多額になる決算時において今後の姿勢を示す意味で「債権管理条例」を制定することを促す決議をいたしました。また、25年度の決算においては、監査委員からも条例制定の必要性が示されています。

しかるに、執行部は、時期尚早として、今定例会においての条例案提出は見送りしました。そこで議員からの提出となった次第です。

内容は、管理責任及び管理台帳の整備など債権管理の体制と法令等による事務の徹底について、町としての方針を示すものです。

## 平成26年度特別会計補正予算

### 国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）

749万4000円を追加し、総額5億144万4000円に

歳入の主なもの

歳出の主なもの

繰入金 1509万9000円

保険給付費 492万円

主な質疑

問 保険税は今後どのようなようになるのか？

答 現在、自治体単位の保険が都道府県単位の方向で国保改革が検討されている。将来、県下統一の保険税になることも考えられるが、現段階では、保険税があまり高くないよう医療費を抑制したり、繰入金などで税率を調整していくことにしている。



### 渡船事業特別会計補正予算（第2号）

630万円を追加し、総額7000万円に

歳入の主なもの

歳出の主なもの

繰入金 630万円

渡船事業費 630万円



町営船 はまゆう

主な質疑

問 「さいかい」のリプレイスは考えているのか？

答 「はまゆう」と同様に航路対策協議会分科会で検討したい。



デイサービス

### 介護保険事業特別会計補正予算（第2号）

63万6000円を減額し、総額4億4198万円に

歳入の主なもの

歳出の主なもの

繰入金 63万6000円減

介護予防事業費 82万円減

# 一般質問

今回の一般質問には4人の議員が登壇し、高齢者問題、産業振興問題などについて質しました。

4人の議員の質問はいずれも本町の大きな課題であり、興味深い議論が期待されました。

内容は次のとおりです。

宮崎議員

「空き家を利用した地域密着型の介護ケアシステム作りについて」

末永議員

「これからの観光業の取組について」

近藤議員

「町職員採用の考え方について」

「中高生に対する進路情報提供の拡大について」

浦議員

「空き家の適正管理について」

次ページへ

## 平成26年度一般会計補正予算（第3号）

2915万円を追加し、総額30億812万円に

歳入の主なもの		歳出の主なもの	
地方交付税	1790万円	総務費	730万7000円
県支出金	677万1000円	諸支出金	630万円

今回の補正は、衆議院議員選挙（総務費）に伴うものと、はまゆりの修理に関連する繰出金（諸支出金）が主なもの。



12月5日の本会議一般質問を小値賀小学校6年生全員が、傍聴しました。皆さん、真剣なまなざしで、メモを取りながら聞き入っていました。後日、その感想をいただきました。全員の感想が綴じられていましたが、とてもきれいな字で率直な意見が述べられており、感激しました。感想のコピーは議事事務局に置いてありますので、関心のある方は申し出てお読みください。2月2日には、小6の皆さんによる子ども議会を予定しております。

# こんなことが決まりました



国民健康保険に加入している人が出産した時は、出産育児一時金42万円が支給されることになっていきます。しかし、今まで産科医療補償制度未加入分娩機関での出産の場合は3万円下回った39万円の支給となっていました。

出産育児一時金の支給格差を是正  
補償制度対象外の支給額をアップ  
小値賀町国民健康保険条例の一部改正

42万円です。ご承知のように、この出産育児一時金は分娩医療機関に直接支払われます。

今回の改正は、産科医療補償制度対象外の場合の支給額を39万円から40万4000円にするものです。その他の場合は今までどおり出産育児一時金は



## 新型インフルエンザ等

### 対策行動計画を策定

### 全国的・世界的な流行に備えを

新型インフルエンザはおよそ10年から40年の周期で発生しています。特に近年、鳥インフルエンザウイルスの変異等が懸念され、大流行が心配されています。国はこの度「新型インフルエンザ対策行動計画」を策定しました。本町でも、対策行動計画をつくりました。具体的には、未発生期、海外発生期、町内未発生期、町内発生期、町内感染期、小児期など発生状況の段階によって、取るべき対策や行動を予め決めていきます。基本的な戦略としては、「感染拡大を可能な限り抑制し流行のピークを遅らせ医療体制の負荷を軽減すること」、「医療提供の業務又は町民生活の安定維持に努めること」などを主眼にしています。

## 11月会議

# 職員給与表水準を修正し 全体的には引き下げへ

## 職員の給与に関する条例を改正



11月25日に11月会議を開き、職員の給与に関する条例の一部改正と衆議院議員選挙の準備経費等の補正予算案を審議し、いずれも原案可決しました。この度の職員給与に関する条例改正は、若年層とベテランの給与格差を縮めることと職員給与表水準を全体的に引き下げたものです。これは、国の公務員給与改正に準じて行われるもので、ベテランになればなるほど昇級による給与カーブが水平に近づくこととなります。





末永一朗議員

従来は漁一本やりのやり方では窮地を打開できる手立てはないように思う。今までは生活の糧であった海であるが、これをさらに有効に活用するために、観光などの産業との共同作業を考えるべき時が来ていると思う。



民泊 郷土料理体験

また、世界遺産登録関連事業や佐世保小値賀ブランド観光事業をうまく活用することで質の高い独自の観光事業を推進していきます。

また、感謝状をさしあげる事については関係者と協議をして前向きに検討してまいります。

### 漁業振興に観光を活用するごとを官民一体で

レベルの高い観光素材を提供しながら今後十分協議

【問】末永議員

今日における第1次産業、特に漁業は、燃油高騰や魚価の低迷の中で、苦境にあえいでいる。早急に零細漁業者の所得をあげる対策が必要である。

を授与する考えはないか何う。

【答】西町長

他の地域に先駆けた民泊事業や古民家事業など

が全国へ情報発信され、高い評価を受けています。

全国の過疎地域でも、第1次産業の低迷からの脱却の為に観光と結びつ



けた地域振興を目指しています。

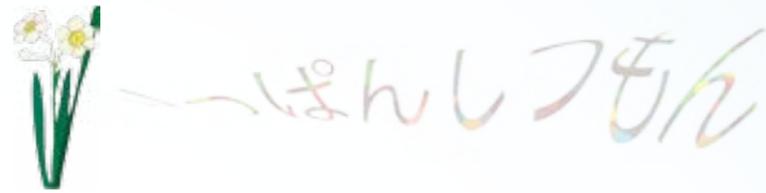


協議の中で、アワビ等の採取などに影響があるのではないかと懸念もあり、漁業者のためになる説明が欠けていたのではないかと思っています。

今後、十分な説明をしながら協力していただけるよう努力してまいります。



宮崎良保議員



### 高齢者の健康増進と生きがいづくりのためのシステムづくりを

支え合う生活支援サービスの仕組みづくりに努力

【問】宮崎議員

近年、独居老人世帯が増加する中、人生の最後まで住み慣れた地域で暮らすため、地域と密着した介護予防を主体としたケアシステムを作る必要があると考える。

さらに、既存の介護施設を中心に地域に密着した生活や心のケアシステム等のソフトプログラム作りも必要と考える。例えば、各地域の空き

家などを高齢者サロンとし、日々の暮らしの不安を払拭して健康寿命を延ばすことを考えるとか、地域での通所介護と訪問介護を合わせたような仕組みづくりなどを提案したいが町長の考えを伺う。

【答】西町長

高齢者の一人暮らしや高齢者のみの世帯は、今以上に増加することが考えられ、小値賀にマッチする地域包括ケアシステムの構築の必要性は、強く感じています。

高齢者の閉じこもり予防や交流による心身の健康づくり等を目的として、自宅から近い空き家を利用するというのも一つの方法です。

空き家を利用するには、補修等新たな費用が



今後高齢者の集まる場としても期待されている旧尼忠東店

必要となり、地域におけるボランティアスタッフ等の人材も不足していること等から、早急な整備は現実的でないものと考えております。

今後、地域支え合いマップ等を作成し、住民の皆さんが地域の現状を認識し、解決策を見出し、いく取り組みなどが必要だと思えます。

気兼ねなく支え合う生活支援サービスの仕組みづくりに努力してまいります。





いっぱんしつもん



浦 英明議員

【問】浦 議員  
空き家条例に関して、今回のおぢか新聞掲載が、初めてか。

【答】西 町長  
生活環境の保護と景観上、防災上の対策を目的として、平成26年4月より「空き家等の適正管理に関する条例」を施行し、今回初めておぢか新聞で、お知らせしました。

【問】浦 議員  
条文中に「虫」とあるがシロアリも含むのか。

【答】西 町長  
虫とは、人体に被害を及ぼす毛虫等の害虫を想定していますので、シロアリではありません。

【問】浦 議員  
空き家を放置した場合の罰則とは？

【答】西 町長  
管理不全な空き家について助言・指導・勧告・命令したにも関わらず、当該所有者が正当な理由がなく命令に従わないときは、住所・氏名・空き家の所在地・命令の内容等を町の広報紙・ホームページ等で公表する行為を罰則としています。

さらに命令に違反した者は、50万円以下の過料、実態調査を拒み、妨げた者は、20万円以下の過料ということとなります。

【問】浦 議員  
空き家再生推進事業や空き家改修事業補助金に国庫補助はないのか。

【答】西 町長  
国庫補助については、市町村が所有者に対して、負担することが前提条件であり、その町村の



小値賀に点在する空き家



負担額に対して、社会資本整備総合交付金が、町に交付されます。

【問】浦 議員  
緊急安全代行措置とはなにか。

【答】西 町長  
高齢などにより、自前で空き家の補強等が出来ない場合や急を要する場合など、所有者に代わって、町が最低限、網などを

【答】西 町長  
老朽危険空き家対策補助金の制度を設けて所有者等の費用負担の軽減を図りたいと考えています。

【問】浦 議員  
崩落寸前の17戸の対応については？

【答】西 町長  
空き家等の適正管理に関する条例に従い、空き家管理台帳の作成を行った上で、所有者に対して、助言・指導を行いたいと考えています。



かんい



近藤育雄議員

### 町職員採用に関する考え方は？

採用に当たっては広く幅を持たせていく

【問】近藤議員

町職員募集案内において第2次試験の面接から約2週間程度で可否の通知を出すのが通常と思うが、可否を出さないまま2次募集が始まったのは何故か？

【答】西 町長  
第2回の募集をしている理由は、技術職や専門職の確保、また、定年退職者や中途退職者及び福祉事務所等の業務拡大による職員の不足などによるものです。  
次年度以降も定年退職者が数年続く状況で、優秀な人材がいれば、採用したいと考えています。可否については、この狭いコミュニティの中で、関心が高いが、受験者の名譽やプライバシーの事もあり、公の場での答えは遠慮致します。

【問】西 町長  
また、募集に応じる人が少ない場合、現職町職員の子弟でも採用するの如何う。



役場庁舎内

【答】西 町長  
また、今回のような事例は過去にはありません。今後も、定員管理の問題もあり、基本的には退職補充の形になると思います。  
現職の職員の子弟を拒

秀な人材がいれば、採用したいと考えています。可否については、この狭いコミュニティの中で、関心が高いが、受験者の名譽やプライバシーの事もあり、公の場での答えは遠慮致します。

【問】近藤議員  
また、今回のような事例は過去にはありません。今後も、定員管理の問題もあり、基本的には退職補充の形になると思います。

む事は時代にそぐわなくなっているが、働きたくても働く場所がない人もいますので幅を持たせる必要があると考えます。



### 本町出身者など現場の生の声を聞いては

今後セミナー等を開いて実施

【問】近藤議員

中学生及び高校生の進路については各種情報の提供や直接指導など実施しており、生徒自身もインターネットや知人・先輩などからの情報により情報取得手段は拡大していると思うが、企業が推進しているリクルーターの活用についてはどう考えるか何う。

【答】浦 教育長  
目的意識を持って学校生活を送る中、主体的に自己の進路を選択決定できる能力を高める望ましい勤労観・職業観を形成していく必要があります。

【問】近藤議員  
また、本町出身の学生や若年層の社会人を招聘し、現場の生の声を聞く機会を提供する考えは無

【答】浦 議員  
リクルーターとは、企業の職員採用を担当している人であり、対象者は大学生が主で、中学生が対象になる事は少ないと思われれます。



小値賀出身の社会人となっている若年層の人を招聘して、現場の生の声を聞くと言う事は大事な事であり、中学校や高校では独自にセミナー等をひらいておりますが、今後も継続して行っていく予定です。

を被せて強風等により飛ばされないような応急措置を実施します。

【問】浦 議員  
施行規則中の「支援」の内容は？

【答】西 町長  
老朽危険空き家対策補助金の制度を設けて所有者等の費用負担の軽減を図りたいと考えています。

【問】浦 議員  
崩落寸前の17戸の対応については？

【答】西 町長  
空き家等の適正管理に関する条例に従い、空き家管理台帳の作成を行った上で、所有者に対して、助言・指導を行いたいと考えています。



漁協女性部との語ろう会

# 肩ひじ張らずに 意見交換

## 今年も「議会と語ろう会」を実施

11月21日、27日、28日に、漁協女性部、婦人連絡協議会、地域おこし協力隊と意見交換を行いました。それぞれテーマを提示しましたが、話は広範囲に及び自由に率直な意見交換が出来ました。そのやり取りの一部を紹介します。

### 漁協女性部

【議会】 水産物の加工についての取り組みは？  
【女性部】 魚の確保が難しい。1年間を通して賃金がもたえるのはいいが、女性部が主体的に取り組むのは難しい。  
【議会】 所得を上げるために自分達で何かしようとは思わない？  
【女性部】 以前に、売れない魚を利用しての朝食を提供する場所づくりを提案したが、何も動きがない。場所ができれば、女性部が交替しながら経営できると思う。  
【議会】 議会でも同様な意見が出ている。主体となる皆さん方から運営計画が示され本気度を示せば、行政を動かすこともできる。具体的な相談など今後とも議会を活用してほしい。



気軽に話し合う漁協女性部役員

【女性部】 観光に力を入れていくが土産物が少なすぎる。加工品の開発に力を入れるべき。  
【議会】 誰かがやるのを待つのではなく、皆さんが出来ることにチャレンジし働く場を自ら作る動きを期待する。  
【女性部】 「何でも言ってくれ、議会も応援する」といってくれたのでちょっと安心した。自分たちも考えてみたい。

### 婦人連絡協議会

【議会】 10年後を考えて心配になることはないか。  
【婦人】 介護施設が足りない。若手がいなくなる状況が考えられる。  
【議会】 子ども達に将来帰って来てもらうためにはどうすればいいか。  
【婦人】 仕事がないのが一番の問題だ。  
【婦人】 自分の子どもは帰ってこないが、農業をしたい人に事業を受け継がせる制度があってもいいのではないか。  
【議会】 面白い考えだ。その制度を実現するための方策がないか検討してみたい。  
【婦人】 子ども達が帰ってくることに對して心配しているのが、高校の存続問題だ。  
【議会】 海士町の取組



婦人連絡協議会のみなさんとの語ろう会

みなさんが参考になる。町を挙げて取り組む必要がある。  
【婦人】 Uターンも結構だが、今いる独身者をもっとどうするかだ。  
【婦人】 昔は若者が集まる場があった。今はそれが無いのが影響しているかも。  
【議会】 いただいた意見は参考にしたい。



婦人連絡協議会会長のごあいさつ

議会を傍聴して思うことについて次の意見がありました。

【婦人】 同じことを何回も質問していた。答弁を聞いていないのではないのか。  
【婦人】 議員さんによって何を質問しているのか聞きづらい時がある。  
【婦人】 傍聴者として、一般質問の中に入りたいと思うときがある。一方的に質問するだけではなく、議論する場がないのか。  
【婦人】 一般質問の回答が遅い。  
【婦人】 議会を身近に感じたい。このような会はないのか。

（〇）意見を真摯に受け止め議会改革に活かします。また、次回の選挙には女性議員の誕生を期待します。

### 地域おこし協力隊

【議会】 小値賀に来て感じたことは？  
【協力隊】 人が優しい。子どもも進んで挨拶するのがすごいと思った。  
【協力隊】 びっくりしたことは、飲み会。8か月で13キロ太った。  
【協力隊】 町民運動会にはびっくりした。  
【議会】 小値賀に来ての仕事については？  
【協力隊】 募集内容がざっくりしていたので、



地域おこし協力隊との語ろう会

自分なりのイメージで島に来てしまっ、与えられた仕事との間にギャップがあった。  
【協力隊】 協力隊をうまく利用してもらえば、いろんなことができると思う。中高生との交流など。  
【協力隊】 主役は、地元の人。協力隊は脇役で、起爆剤だと思っていたが、今日の話し合いで、時には小さな始まりの中心的存在になることもありえることを考えさせられた。  
【協力隊】 地域おこしのテーマはたくさんあり、自分たちのやっていることとつながられそうなきとがいくつかある。  
【協力隊】 この島の良いところはたくさんある。悲観的な言葉も時々聞くが、地元の良いところを自信をもって自慢し、ここに生まれた誇りを子ども達に伝えていってほしいと思う。その価値がここにはある。

### 小値賀町議会の

## 総合計画策定の取り組みに注目

11月19日内子町議会議員ら8名が来島されました。内子町でも総合計画の策定を始めている状況にあり、議会としての取り組み方について、本町の事例を参考にしたいというものでした。  
議会中心に町民有志と共に進められた本町議会の総合計画づくりの特徴と、地方分権時代に



## 愛媛県内子町議会が小値賀を視察

おいては行政計画ではなく公共計画の性格が色濃い計画づくりが大切であることを中心にして意見交換を行いました。  
三班に分かれた作業部会の進め方やまとめの段階などにおける留意点などに質問が集中しました。  
町民公募がうまくいかず、町民有志が議員が勧誘して回ったこと、町民と議会が一緒になった町の将来を話し合うときの進め方などに工夫が必要であったことなどを、説明しました。  
内子町議会でも議会改革に取り組んでいるとのこと、議会だよりのあり方などをはじめ情報提供の手段、通年議会導入など議会の運営改革、議会報告会や子ども議会の開催などの取り組みについても話し合いました。  
内子町議会の皆さんの熱心な姿勢に圧倒されつつ、大変貴重な意見を伺い、こちらも有意義な時間をいただきました。

# 議員定数が10人から8人へ

## 小値賀町議会議員定数条例を改正

### 分かれる2つの立場の意見

「人口減少・厳しい町財政を考慮して削減へ」

「これからの10年が勝負、議会の戦力ダウンは問題では？」

12月25日の本会議に現在の10人から8人にする小値賀町議会議員定数条例の改正案が、松屋議員から出され、審議の結果賛成6反対3で可決されました。

これにより次の統一地方選挙は定数8人で施行されることとなります。

今回の議員定数削減案の提案理由は、町民からの意見もふまえ「人口減少や厳しさを増す町財政」の観点から削減するべしとのことでした。

これに対して、「議事機関としての機能を維持するための数を考慮しなければならぬ」「一万人以上の自治体の場合とは考え方を変えなければならぬ」との主張がありました。

さらに町財政についても、「チェックをする立場にある議会の機能こそ今後の財政運営の健全化を図ることにつながるの

で、定数削減に財政問題を絡めるのはおかしい」との意見も出されました。

また、「現在課題が山積み、国の地方創生などの動きもあり、今こそ大事な時。戦略作りなど地域間競争にもその力を発揮すべき議会の戦力をダウンさせることが本当に小値賀のためなのか疑問」との意見も出しました。

これに対して、提案者からは、2人削減することで、議会運営が厳しくなると自覚しながらも、「定数を削減することで厳しさを自覚し、少数精鋭でことを進めることができる。議会の機能を低下させないよう町民の力を借りてカバーするなどの方法で乗り切れる。」と答えました。

最終的に採決し、賛成多数で原案可決となりました。



御用納めの日に議員一同で掃除した議場

町民の皆さんにとって議会の仕事は、「わからない」ところが多いと思います。

議会は、この4年間「行動する議会」「町民とともにある議会」「政策を提案する議会」を目指して『見える化』を意識し

た議会改革に取り組んできました。

たとえ議員の数が少なくなっても、議会の目指すべき方向を見失うことなく改革の火を消してほしくないものです。

そのためには、町民のみなさんも、さらに議会の仕事に目を光らせてください。

### 編集後記

昨年12月の議会には平成25年度決算が提出された。

初日に9月議会にて可決した債権管理条例に関する決議に対して、町長が意見を述べたことについて、多くの議員から矢継ぎ早に質問がなされた。

普通は静かに開始される本会議だが、このようにな出だしは珍しい。

思うに、町の運営は行政と議会とが車の両輪だと言われるが、行政側や町民の目線からすれば、ややもすれば議会は軽視されがちであった。

本来、民主主義における地方自治の根幹は議会にある。本来の機能を十分に果たすべく、今、小値賀町議会は懸命に議会改革に取り組んでいるところである。

今回、マニフェスト大賞優秀成果賞・審査委員会特別賞を受賞し、町議会が東京で表彰された事は大いに意義のあることだ。

小辻隆治郎